

NEO の追観測（フォローアップ）の紹介

NEO=Near Earth Object（地球接近天体の略 小惑星、彗星、人工衛星 etc.）

これらのうち私が追観測（精測位置と光度）している NEO はM P Cが発行する NEOCPに掲載のもの。

接近距離 0.2AU（約78LD）以内（1LD=地球と月の距離）
の発見直後の初期軌道を決定するための追観測。

精測位置（1秒以下）と光度の観測

国内観測者 プロ2天文台 アマチュア3名ほど

使用ソフト 小惑星探索ソフト、Astrometrica、Tycho-tracker

2024年12月～2025年3月のNEO

日本スペースガード協会回報を集計

接近距離は769万km（20LD）以内のもの

最接近距離

	12月	1月	2月	3月
<1/4LD (約10万km)	6 ※1	2	0	2
<1LD	16	10	13	17
>1LD	23 ※2	25	23	28
計	45	37	36	47

観測時光度：17から22等

（私は20cm反射望遠鏡で
17～18等代を月に4～5個
報告）

※1 地球衝突前に発見（8例目）で話題になった。2024 XA1

※2 地球衝突か！で話題になった 2024 YR4

大きさ

	12月	1月	2月	3月	地上落下時の被害予想
1～10m	16	18	24	30	被害少ない
10～50m	26	8	9	15	地域～都市被害 ※
>50m	3	11	3	2	大規模被害

※ 2013年 チェラビンスク落下 17m

プレートソルビング（星の写真等の座標解析）

Astrometry.net（Web上で無料）：次ページで紹介します。

Tycho-tracker（有料 約4000円）：操作がむづかしい。